

一般質問

山内議員

地方創生施策について

Q 質問

住みよい町には税・教育・環境等、色々あるが地域が過疎になっていく最大の問題は雪害であると考えている。高齢化が進む現在、狭い道路の除雪や屋根雪下しは大きな負担となっており、Iターン・Uターン者が少ないのも雪の問題が根っこにあると思っている。市長の見解を伺う。

A 答弁

国は、地域の特性に即した地域課題の解決を地方創生の実現を図る基本的視点と定め、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ることを、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の一つに掲げています。勝山市としても、人口減少を抑制するため安心して勝山市に住み続けられるよう、また安心して勝山市に帰って来られるよう、来年度策定予定の「勝山市まち・ひと・しごと総合戦略」の具体的施策の中に、克雪を中心とした総合的な雪対策を盛り込み、更に積極的な推進を図っていく。

その他の質問  
・英語教育強化地域拠点事業について  
・鳥獣害対策について

国民健康保険税について

Q 質問

現在、勝山市の医療給付費分は平等割1世帯23、500円、均等割1人あたり26、000円、資産割課税標準額の23%、所得割5.7%となっている。家を新築した場合や年金生活者には重い負担となることから資産割をしないようにできないか。平成30年には県で一本化されるが高齢化率が上がる中、今後どのようになるのか不安である。市の見解を伺う。

A 答弁

現在、本市では国民健康保険税は所得割、資産割、均等割、平等割の4方式で算定を行っています。医療給付費分については、福井県内のすべての市町で4方式での算定を行っています。

平成30年度には国民健康保険の財政運営が県に一本化の予定で、新たな保険税の算定の方式が決められることになるため、県一本化までは、現在の算定方式で賦課していきたいと考えています。平成30年度からの算定方式についての協議の過程の中では、資産割をなくす意見があることを伝えてまいります。



帰山議員

公共施設等総合管理計画について

Q 質問

①総合管理計画策定の役割と目的、期待する効果は何か。  
②計画策定における公共施設統合の方針を伺う。  
③台帳、付属書類などの管理保管状況と今後の方針を伺う。

A 答弁

①公共施設等総合管理計画は、過去に建設された大量の公共施設の更新時期に対応するため総合的かつ計画的な管理を行うことを目的としている。道路や河川、橋梁、上下水道といったインフラや廃棄物処理場や汚水処理場などのプラント系施設も含む包括的な計画とするよう求められており、公共施設の現状把握と課題認識および再配置に関する基本的な考え方を整理することができると考えている。

②今のままのインフラも含めた公共施設を維持していくことは、経費的に非常に困難になっていくことは間違いのない事実である。そのため、公共施設等総合管理計画では各施設の現状を正確に把握し、今後の施設の在り方について基本的な方針を定め、市民に理解をいただくために十分な説明ができるよう計画策定を進めていきたいと考えている。

その他の質問  
・長尾山総合公園の再整備計画について  
・新年度予算について

考えている。

公共施設の統合の基本的な方針については、その施設の利用状況や維持管理経費、更新にかかる経費等を総合的に判断し、行政サービスの一定水準を維持することを基本としていきたいと考えている。

③公共施設の管理については、現在、財務会計システムの公有財産台帳で管理保管しているが、図面等の付属書類については、それぞれの施設管理者で保管している。また、建築物の台帳や書類の保管管理に関しては、勝山市文書管理規程に基づき保管することとなり、「工事施行に関するもの」で「重要なもの（竣工図）」は永年保存することとなっている。しかし、市の建築物の中には竣工から50年近く経過しているものもあり、建築図面については、一部では適切に保管できていない施設もある。



ホワイトザウルス